

9月議会には、平成27年度決算の認定議案3件が提出されました。27年度は、財政健全化を進めるとともに、南海トラフ地震対策を最重点課題として、総合計画第2次実施計画に登載された各施策を着実に推進する内容となつており、これらの議案を審議した結果、公共下水道事業会計は全員の賛成で、一般会計・特別会計および水道事業会計は賛成多数でそれぞれ認定しました。

その他の議会費、労働費、災害復旧費など

公債費 237億6,433万円 借入金の返済など

教育費 125億2,692万円

消防費 53億1,580万円

土木費 128億2,002万円 都市区画整理、道路、公園の整備など

商工費 23億4,941万円

農林水産業費 23億1,000万円

衛生費 93億7,345万円 ごみ・屎尿処理、施設整備、健診事業など

借入金返済額の大きさを財政実質公債費比率

依然中核市最下位クラス

財政健全化は進むも、依然中核市最下位クラス

本年度で見えた結果

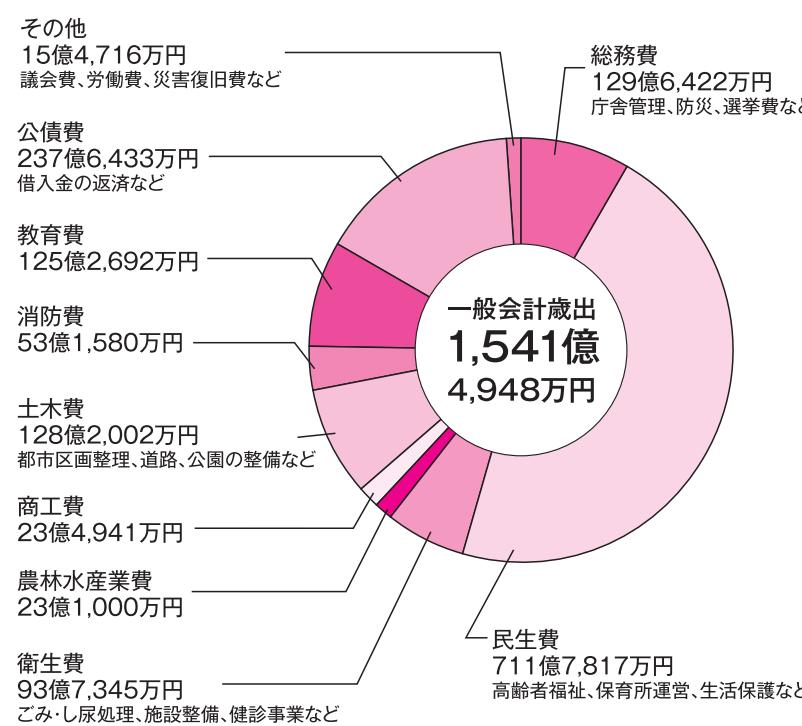
一般会計歳出  
1,541億4,948万円

総務費 129億6,422万円 庁舎管理、防災、選挙費など

民生費 711億7,817万円 高齢者福祉、保育所運営、生活保護など

9月議会には、平成27年度決算の認定議案3件が提出されました。27年度は、財政健全化を進めるとともに、南海トラフ地震対策を最重点課題として、総合計画第2次実施計画に登載された各施策を着実に推進する内容となつており、これらの議案を審議した結果、公共下水道事業会計は全員の賛成で、一般会計・特別会計および水道事業会計は賛成多数でそれぞれ認定しました。

## 平成27年度決算を認定しました



将来負担比率

現在抱えている負債の大きさを財政規模に対する割合で示す。将来負担比率については、平成21年度との比較では25.7%から16.5・4%へと改善

### 表れた歳出削減の効果

平成26年度に総務省から公表された本市の人口1人当たりの人員費・物件費などの決算額は9万2431円と、中核市の中で6番目に低くなつており、類似団体内においても低い水準で

### 行財政改革

平成26年度に公表された本市の人口1人当たりの人员費・物件費などの決算額は9万2431円と、中核市の中で6番目に低くなつており、類似団体内においても低い水準で

### 攻めのお客様サービスで黒字継続へ

収益事業特別会計については、現在の競輪場になつた平成11年度以降で最高額の約3億7400万円の黒字となつており、投資的経費を除いた競輪事業としての累積赤字は解消し、黒字に転じることができた。

全国的に売り上げが減少傾向にある中で収益を上げることができたのは、ミッドナイト競輪の通年開催や車券の場外発売の積極的な展開、またガールズ競輪やモーニング競輪など新しい競輪をいち早く導入してきたことが大きな要因であったと考える。

しかし、ミッドナイト競輪への参入増による競争の激化、全国的な売り上げの減少傾向などにより楽観視できる状況ではないため、今後もお客様に喜んでいただき、売り上げにもつながるような事業に取り組み、黒字の確保に努めていく。

しており、財政健全化は着実に進んでいるものと考えている。

しかし、中核市47市中46位と、依然として低水準にとどまつて

推移している。

これは、人口千人当たりの職員数が類似団体平均より多いことから、人件費は平均値を若干上回っているものの、本市が継続して取り組んできた行財政改革による内部管理経費を中心とした歳出削減などにより、物件費が中核市の中で一番低くなつたことが数値に表れたものと考

## 審議日程 (9月定例会)

8日 開会

13日 個人質問  
市長提出議案提案理由説明  
福島 明 (新こうち未来)

21日 個人質問  
伊藤 弘幸 (公明党)  
平田 文彦 (新風クラブ)  
竹内千賀子 (市民クラブ)  
清水おさむ (新風クラブ)

28日 常任委員長報告 修正案  
提出 討論 採決 閉会